

令和7年4月23日

## 公共交通で地域を良くするための考え方を学ぶe-ラーニング教材 福島大学・交通事業者・デザイナーが行政職員・市民団体と開発

このたび福島大学では、国土交通省の2024年度「共創・MaaS実証プロジェクト」に採択され、持続可能な地域社会を実現するために公共交通を活かす視点やノウハウについて解説したe-ラーニング教材を外部講師（交通事業者・デザイナー）とともに開発しました。本教材は、無料公開されており、広く地域づくりに関わる方にご活用いただければ幸いです。

交通は地域の生活と経済を支える手段であり、都市や地域の改善と連携させることが重要です。地域公共交通の持続が全国的に課題となるなか、その確保・維持に施策を終始させるのではなく、持続可能な地域社会を実現するために公共交通を活かす視点やノウハウを持ち、他主体との「共創」をコーディネートすることが求められます。

本学では、国土交通省の2024年度「共創・MaaS実証プロジェクト」モビリティ人材育成事業に採択され（代表：吉田 樹 経済経営学類教授）、公共交通の外部性や、公共交通政策で課題となる問題解決技法とデザインの適用、合意形成手法とデザインの活用などを解説したe-ラーニング教材を外部講師とともに開発しました。また、教材の内容に関しては、国土交通省東北運輸局、福島県生活交通課のほか、関東や東北の自治体職員、市民団体の方々からもご意見を頂戴しました。

本教材は、無料で公開されており、公共交通を担当する行政職員の方々に限らず、都市や道路・教育・福祉などの部局、地方議員、有識者、地域金融、IT事業者、観光をはじめ広く地域づくりに関わる方にもご活用いただければ幸いです。

【e-ラーニング教材】 <https://jrmkt.com/elearning/>

※ 日本鉄道マーケティングのホームページに掲載されています

【講師陣】 吉田 樹（福島大学教授）

山田 和昭 氏（元若桜鉄道社長・現日本鉄道マーケティング代表）、

井上 晃良 氏（inoue design）

北嶋 悠史 氏（GKグラフィックス）

（お問い合わせ先）

経済経営学類 教授 吉田 樹

電話：024-548-8376

メール：e127@ipc.fukushima-u.ac.jp